

2022 年秋季女子 ABC ブロック対抗戦 感染対策要項

2022 年 7 月 29 日
関東学生ゴルフ連盟
感染対策委員会

目次

はじめに・・・コロナ禍での競技参加者としての心得について	2 ページ
1, 競技前 14 日間において	3 ページ
2, 2022 年秋季対抗戦における感染対策の説明	3～5 ページ
タイプ① ワクチン所定回数接種済み者について	
タイプ② 未接種あるいは 1 回のみ接種、もしくは 2 回目接種から 8 か月以上経過している方々に関して	
検査実施とその報告方法について (重要)	
3, 競技当日において	6～7 ページ
3-1) 入場チェック前にお願いしたい約束事	
3-2) 入場前の検温と「体調管理チェックシート」の提出義務	
3-3) 「学校バブルシステム」遵守	
3-4) プレー中以外は「マスク着用」の徹底	
3-5) 発熱、咳き込む、熱中症、体調不良に関して	
3-6) 指導者の方の競技場入場について	
4, その他	8～9 ページ
4-1) ギャラリーについて	
4-2) カートの乗車について	
4-3) 所属大学当局からの部活動指針について	
4-4) 熱中症へのケアについて	
4-5) 競技会場往復時の安全運転励行について	

はじめに

選手並びに関係者の皆さまへ

首都圏の感染者数が、未だ好転していないどころか、感染が急拡大している状況下での競技開催に、ご理解とご協力の意を示して頂き、誠にありがとうございます。

競技開催に際して、先の7月11日にホームページに掲載させて頂いた

【秋季(8月)以降の競技開催における感染対策についてのお知らせとお願い】
を熟読・周知し、今まで同様、自制的な生活を励行して頂き、秋の対抗戦・個人戦に臨んで頂きたいと存じます。

その中でも記述していますが、秋以降、本連盟の感染対策において、皆さんの自主性に(ガイドライン遵守を)委ねる部分が増しました。

★秋の対抗戦ではギャラリー(加盟員のみ)の入場も、各校、1組(1ドロー)につき2名まで許容しております。その為、この「感染対策要項」はギャラリーの皆さんにも適用させていただきます。

今一度強く意識して頂きたいのは、

「競技2週間前において、ガイドラインに則った生活を励行」して頂くことです。

その生活様式を皆さんが励行して頂ければ、大きな感染の広がりや押し寄せは抑えられ、円滑な競技運営に繋げることが可能となります。

たった一人の気の緩み、ガイドラインとは異なる行動を取ったことによる感染は、かなりの確率で周囲を巻き込み、クラスターが発生した場合は、他のプロスポーツ競技で実例の通り、試合の中断・中止を余儀なくされます。

また、**ギャラリー入場による人員増は、感染確率の見地で、リスクが増すことは確かです。加えて新株の感染力の強さは、現在の感染急拡大が示す通りであり、皆さまのご協力無くしては、円滑な競技の運営・推進は遂行できないと思っております。**

本連盟としても、アクシデントや離脱者を出すことなく、安心・安全な競技運営に努めてまいりますので、何卒、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

関東学生ゴルフ連盟

感染対策委員会リーダー 金井 毅

感染対策委員会一同

1, 競技前 14 日間において

1-1) 今一度、ガイドライン P27~P44 の熟読をお願い致します。(詳細を記載しています)

1-2) また「当該競技 7 日前の宿泊或は、宿泊を伴う練習・ラウンド」を行なう場合、学連所定「宿泊申請フォーム」の提出義務はなくなりましたが、各校責任者(指導者の方々、主将主務)の統制のもと、正しい運営を行なって下さい。

*イレギュラー事項や迷った場合などは、従来通り「宿泊申請フォーム」をご提出下さい

2, 2022 年秋季対抗戦における感染対策の説明

これまでとは異なり、2022 年度関東大学秋季 ABC ブロック対抗戦(9 月 1,2 日)は、

人数制限はありますがギャラリーの入場(各校 1 組につき 2 名まで)を許容しております。

選手、指導者の方々、ギャラリー全ての競技場入場者に対して、以下の感染対策並びに検査スキームを組みますので、熟読、周知徹底の程、宜しくお願い致します。

★事前検査について

タイプ① ワクチン所定回数接種済み者は、体調チェックシートで「異常なし」のみをもって、検査陰性と同等と認め(追加検査不要として)、3 日間競技(指定練習ラウンド含む)は、事前の PCR(抗原)検査を行なわないとします。

(但し 2 回目接種が 2022 年 1 月接種者までが検査不要。2021 年 12 月以前の接種者は、**ワクチン効果の有効期間を過ぎている為、検査が必要となるタイプ②へ!**)

タイプ② 未接種あるいは 1 回のみ接種、もしくは 2 回目接種から 8 か月以上経過している選手・関係者に関しては、医学上、ワクチンの有効性判断ができないので、PCR 又は抗原検査での「陰性判定」により、出場が認められます。

*8 か月を超えている場合でも、接種券により可及的速やかに予約をして 10 か月以内に接種 3 回目を予定して待っている方々は除く→この場合タイプ①に含む(ガイドライン P27 参照)

タイプ①に該当する選手・関係者(ギャラリー含む)は、

事前検査を行なわない為、競技 14 日前より、ガイドラインに則った行動様式を遵守し、当該競技に臨んで下さい。

タイプ②に該当する選手・関係者(ギャラリー含む)は、

試合開始日の 3 日前以内に検査を行なって下さい。検査キット等は、お手数ですが、各校で購入なり、お手配をお願い致します。(ワクチン接種が進み、要検査者数が大幅に減った為)ご負担頂いた分に関して本連盟費用負担は税込 1000 円とさせていただきます。(選手・ギャラリー含む)本連盟に大学単位でご請求頂ければ、競技会場にてお支払い致します。

(指導者の方は自己負担お願い致します)

*参考までに本連盟がお取り組みしている「Anywhere(エニーウェア)」様(<https://anywhere-no1.jp>)からですと「鼻腔採取抗原検査キット」を 825 円(税込)にて購入できます。

以下、タイプ②の対象選手、関係者用（ギャラリー含む）の手順説明

②－１）検体採取実施日について

8月28日（日）或は8月29日（月）午前中までに検査実施して下さい。

- ・検査精度上、上記実施日は、余程の理由がない限り、遵守して下さい。
- ・検査を行ない、**陰性確認の証拠となるもの（写メ・スクリーンショット・証明書など）は、不測の事態（感染者発覚など）に備えて、必ず保存して下さい。**

*保存していない場合、不正の疑義も生じ、本連盟規約第13章（賞罰）の第72条適用対象となる場合もございます。

②－２）検査結果報告のやり方 **【報告のやり方が大きく変わります】**

報告期限：8月29日（月）PM3時まで（期限を超えた場合、受付致しません）

↓ 報告先

ksga.kensa@gmail.com（担当：学生感染対策委員 牛谷、新出、関谷）

*この報告を間違いなく、正確にレスポンスして頂けることが重要です。

報告方法は、今までと異なり、「陰性写真の提出」は必要ありません。

責任者（指導者の方、主将主務など）が検査対象者の「陰性」を確認し、責任を持って、本連盟発行の【団体戦 陰性確認兼選手・関係者登録リスト】に、所定の箇所を記入し、提出をお願いするかたちとなります。

*上記フォーマットには、選手名、指導者名、ギャラリー名の記入欄がございます。（検査ナシのタイプ①の方々の名前も記入できるようになっております）

この【団体戦 陰性確認兼選手・関係者登録リスト】提出した段階で、『対抗戦選手登録者』『帯同指導者さま』並びに『対抗戦公認ギャラリー』として認可・登録されます。（登録されていない方は入場不可となります）

*なお、このフォーマット&リストにおいて、虚偽の報告が発覚された場合には、本連盟規約第13章（賞罰）の第72条適用とさせていただきます。

↓

【団体戦 陰性確認兼選手・関係者登録リスト】については、別紙添付の原版を参照

*記入は、わかりやすいと思いますが、質問等は事務局及び学生感染対策委員へお願い致します

②－３）検査結果判明後の段取り・諸注意事項

もしも「陽性」判定が出た場合、その方は、日本国の様式に従った行動をとって下さい。

（医師・保健所への相談・連絡）

責任者は、まず所属大学当局にその旨の連絡を入れ、大学当局の指示・判断をあおいで下さい。大学当局からの指示が「チームの出場を認める」或は「出場を辞退する」など、どいう裁定にせよ、速やかに本連盟に必ずご一報下さい。

【同一校部員から（1名以上）陽性者が出た場合、当該校の他の選手に関しては、陰性が確認され、且つ、その陽性者たちと濃厚接触(定義はガイドライン P25 参照)していないと確実に判断できるならば、出場を認可します。】

濃厚接触者となった場合は、安全管理上、出場できません。また、少しでも不安があると自覚される方は濃厚接触者扱いとなります。感染を拡げない為にもご周知下さい。
・陽性者が認められた大学は、本連盟にも必ずご一報下さい。

(ご報告頂くことで、全容が掴むことができ、感染対策面でも役立てることができます)

但し、出場を認可された当該校の選手全員（ギャラリー、関係者含む）は、安全管理上、以下の点を留意・遵守して下さい。

①**該当競技の指定練習日前日の夕刻（練習日がない場合、試合前日の夕刻）に必ず、抗原検査を行ない、陰性確認を行う。 ＊ワクチン接種済み者も同様**

→ 陰性を確認できれば出場認可、陽性の場合には出場不可となります。

②指定練習日を含む試合期間中に、体調チェックシートに記載されている症状（発熱、喉痛、せき、倦怠感、味覚障害など）が新たに出現した場合は、基本出場停止となりますが、可及的速やかに抗原検査を行った上で、陰性ならば学連に報告をし、判断を仰いで下さい。（陽性の場合には、出場できません）

➡この場合、学連側で出場継続許可の判断が下ったとしても、2日間競技でも4日間競技でも

毎日、試合前日の夕刻に抗原検査を行なうこととします。

これを行うことで安全確認の精度が飛躍的に増します。（寮生活や合同部活等の背景もあり、陽性者が出た場合、罹患しているにもかかわらず、1回の抗原検査では、偽陰性の可能性も否定できない為）

***①・②の場合、検査キットは予め当該大学でご用意下さい。検査費用は当該大学負担とさせていただきます。出場できなくなる状況からレスキューする個別の措置として、ご協力ご理解下さい。**

上記に関しては、当該校責任者（指導者の方、主将主務）の管理のもと、適正に行って頂き、本連盟の競技運営責任者（委員長、競技委員長、学生感染対策委員リーダー）にご報告下さい。

③また、安心・安全に運営して行く為、2名以上陽性者が存在した当該校の大学名は、当該試合に出場している他大学の責任者（指導者の方、主将主務或は準じる者）にはお知らせをし、学校バブルシステム施行する際の注意喚起（濃厚接触、ソーシャルディスタンスなど）としてケアらせて頂きますので、ご承知おき下さい。ガイドラインに従って試合当日の行動を徹底すれば学校内の感染まで留められるはず（公共の福祉を乱さない）という基本概念により、こういった周知がより感染拡大予防(公共の福祉)に貢献すると判断した次第です。

3、競技当日において

検査免除時の行動基本は「自身が感染者と仮定して、他人にうつさない立ち居振る舞い」をすることです。もちろん、他人からウイルスをもらわない行動を取ることとも自衛の意味で必要です。競技当日はこのパフォーマンスが重要となります。

3-1) 入場チェック前にお願いしたい約束事

感染対策の大切なポイントとして、責任者（指導者、主将、主務）の方は、以下の点を必ずチェックして下さい。

1、当日の朝（試合会場へ出発前）に、発熱症状（平均体温より1度を超えて高い場合）或いは体調を崩している者がいないか？！

***上記に該当する選手は、感染対策の見地で絶対にコース入りをさせないで下さい**

2、「体調管理チェックシート」を忘れていないか？また、記入漏れ（特に平均体温や氏名、連絡先など）がないか？「体調管理チェックシート」は、発熱や体調不良でクリニック・病院での受診の際に、とても大切な問診資料として役立ちます。

3-2) 入場前の検温と「体調管理チェックシート」の提示義務

出場選手（指導者含む）は「検温」を本連盟が設置する入場口にて、おこなって頂きます。（ギャラリーの入場チェックは、受付場所を別に設けますので、そこからお入り下さい）その際、平均体温より1度を超えて高い、もしくは37.5度以上の者は入場不可です。同時に、「体調管理チェックシート」を提示して頂きます。

未提出者、或は記載内容に不備があった場合（平均体温未記入など）入場不可です。

***特に未提出や記入不備、その場で適当に記載した場合、感染対策の意識が希薄と判断し、安全管理上、入場を固くお断りしますので、ご留意下さい。**

（本年度は、検査免除の競技も多く存在し、上記の**赤文字部分**は厳しくチェックさせていただきますので、しっかり遵守して頂けるよう、ご留意下さい）

3-3) 「学校バブルシステム」遵守

①普段から学校単位での感染対策の更なる徹底をお願い致します。

②競技会では、学校単位での接触活動のみにとどめることを徹底し、

学校を超える選手間・関係者間の濃厚接触を完全に避けることとします。

- ・朝の入場時は、他校選手との濃厚接触を避けるようケアして下さい。
- ・プレー中もソーシャルディスタンスをとり、他校選手との濃厚接触を回避して下さい。
- ・当日の来場も、同じ大学単位で来場。練習場、練習グリーンも濃厚接触を避けて下さい。
- ・猛暑や大雨など、諸状況でロッカー利用許可が出た場合や、クラブハウス及びその周辺待機の場合でも、同じ大学単位での行動指標を念頭に置いて下さい。

このシステムを遵守して頂くことで、万が一、感染者が認められても「濃厚接触は当該大学の選手、関係者のみ」となり、その日の競技を中止せず、継続することが出来ます。

***その選手、関係者自身は競技場から退場。** 濃厚接触の当該大学の他の選手、関係者も、競技場から退場となります。

3-4) プレー中以外は「マスク着用」の徹底

スタート集合時、アテスト時、トイレ利用時は、マスク着用を基本とし、

飛沫の出るような私語は厳禁とします。(ショット・パター練習時マスク着用は必須とはしていませんが、大声の発声を行った場合は下記の様な退場処分となります)

***私語や大声の会話を注意される、マスク未着用を注意される等、感染対策上の落ち度を、2回以上受けた者は、反省の意がないと判断し、退場して頂きます。**(ギャラリーも同様)

3-5) 発熱、咳き込む、熱中症、体調不良に関しては、下記の点をご注意ください。

①上記の顕著な症状が、競技中に認められた場合は、**症状を隠すことや、無理をすることはせず、遠慮なく学連関係者へ申し出て下さい。**(その勇氣によって、競技進行が大事に至らず、ご自身・参加者の「命」「健康」を救う判断となります)

②**競技数日前から体調不良の自覚がある場合は、必ず部の責任者に申し出ること。**

③熱中症を防ぐ意味でも、十分な睡眠、小まめな水分補給を試合当日はもちろん、普段から怠らないようにお願い致します。***日傘は必ず持参すること**

(感染対策上、「熱中症のリスクでマスク未着用の場合は日傘必須」のローカルルールを設定することがございます。 *ガイドライン P41 参照)

④「熱中症」へのケアについて

この時期、感染症と共にケアしなければならない一つに熱中症が挙げられます。

その症状は、脱水症状はもとより、発熱や意識の朦朧、息苦しさも見られ、コロナ感染症にも類似しており、より一層の注意が必要です。

試合前、試合中でのお願い

- ・試合に臨むにあたり、体調管理に努める(特に寝不足、疲労、食生活の乱れは要注意)。
- ・水分補給→最低でも1日2~3リットルの水やスポーツドリンクでこまめに補給する。
- ・体温調節→直射日光を避ける「日傘」はマストアイテム(日傘をさすこと励行)!

3-6) 指導者の方の競技場入場について

1校につき指導者の方は、計3名まで入場可とさせていただきます。(ワクチン接種済み或は検査陰性の方が入場可) それ以外の方々は(OBや父兄など)は入場できません。

***指導者の方のレストラン利用は認可します。**但し、学校バブルシステム施行にご協力頂き、同一校内でのご利用と致します。長時間利用は避け、利用後は速やかにご退席下さい

4, その他

4-1) ギャラリーについて (諸注意事項)

①秋対抗戦でのギャラリーは各校1ドロー2名まで(主務含む)とさせていただきます。学校バブルシステムを遵守し、学校間での交わりを避けるようお願い致します。また、受付の混雑が予想されます。前述の通り、ギャラリー入場受付を設けると共に、当日、一気に100名前後のギャラリー入場となりますので、混乱を避ける為、ギャラリーと選手の受付時間をずらして行うなどの対応を取らせて頂くことがあります。その場合、運営委員の指示に従って頂きますようお願い致します。

②ギャラリーの登録について

前述の通り、選手登録の用紙にギャラリーの枠を設けました。

責任者(指導者の方、主将主務)は全員が陰性またはワクチン接種済みを確認の上、登録を行うようお願い致します。

※ギャラリーの学生は大会を通して、なるべく人員の交代なしでお願い致します。就職活動や冠婚葬祭などで、交代やむなしは致し方ないですが、その交代が増員してしまうと、感染確率のリスク増や感染対策対象者の人員管理負担が増し、円滑な運営に支障をきたす場合もあり、**まずは、今秋の第一歩として上記①、②のスキームでの感染対策運営とさせていただきます。何卒ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。**

(このスキームでの稼働状況を検証し、翌年以降に繋げたいと思っております)

③ギャラリーも、暑い時期なのでコース内では、各自が日傘をさすことを励行し、マスク着用義務はナシとしますが、飛沫の飛ぶような会話、大きな声出しは厳禁。また、コース以外の場所や、トイレ利用等でハウス内に入る場合は必ずマスク着用をお願い致します。

ギャラリーの皆さんも、学校バブルシステム施行を十分に理解して頂き、ギャラリー間でのソーシャルディスタンス確保にご協力お願い致します。

4-2) 今年度から、学校バブルシステムを施行し、感染力の強い新株からの感染をガードする為に、カートへの乗車は不可としています。(ガイドライン P42)

*カートに複数乗車した場合、風下の人には感染リスクが高いこともデータ上、報告されています

カートにキャディーバッグを積み、プレーヤーは歩いて下さい。

自走式カートの場合、運転する選手1名のみ乗車とします。特定の選手に運転が偏らないように、各組で助け合って、運転の分担をご配慮下さい。

(ホール間インターバルが、歩くには物理的に時間がかかり過ぎる長距離の場合、ローカルルールを会場ごとに設定し、マスク着用にて乗車可とするケースはありますが、

基本、プレーヤーは歩く！とします。また春季対抗戦で散見された、複数名でカートに乗車し、スコア確認する行為は絶対に行なわないで下さい)

また、刻々と変わる感染状況或は天候や環境変化を鑑み、追加の感染対策や感染対策のローカルルールを発信する場合もございます。その場合、主務連絡網やホームページ、試合会場掲示板或は委員長、競技委員長からの通達を通してご一報させて頂きますので、ご確認の程、お願い致します。

- 4-3) コロナ禍における各大学当局の部活動制限は、大学ごとに若干の差や違いがあると思われま。自身の大学の部活動において「部活停止や自粛」あるいは「試合出場不可」などの制限が出ている場合、大学の許可がなければ本連盟競技に出場できません。大学からの情報を常にご確認下さい。(大学からの指示が急に出る場合もございます) 前述のような制限が出ていたにもかかわらず、無許可で本連盟競技に出場した事実が判明した場合は、本連盟規約第13章第73条を適用させて頂きます。
- 4-4) **脱衣所、シャワー利用に関しては、可とします。**
季節柄、大雨や猛暑も考えられ、健康面を考慮し、利用を認めることとします。
但し黙利用でディスタンスを保って、シャワーのみの短時間利用(15分程度)とします。
- 4-5) 自家用車での往復に際しては、各自が気を付けて安全運転に努めて下さい。また、**日々の競技終了後は速やかに帰路(宿泊先への帰路含む)について下さい。**

以上です。

ここに来て、全国感染者数が、過去最高を更新し、いよいよ本連盟にも、各校から「罹患した」旨の報告も多くなっております。また、関東学生・女子学生本選の事前検査でも延べ16名の陽性者欠場が顕在しました。団体戦において、チームの複数感染者を出してしまつては、色々な面で多大な影響があり、加えて競技場での感染発覚の懸念も考えられます。どうか、各校で試合前の水際感染対策の大切さを重視して頂き、選手・関係者の皆さんが、健やかな体調で対抗戦に臨めるよう、尽力して頂ければ幸いです。

本連盟としても事前準備含め、より円滑に推進できるように努めます。

選手・関係者の皆様には細かい段取りを強いらせてしましますが、感染対策の見地で、安心・安全な競技開催を具現化する為の大切な行動指標として、ご理解頂ければ幸いです。宜しくお願い申し上げます。